

# 白い砂の秘密を探ろう！

## ここが見どころ！ 間々下浦といたら…

- 白い砂、白亜の断崖(白ママ)をじっくり見れる！（羽伏浦より観光に便利）
- 鳥ん島が面白い！（引き潮だと渡れる離れ小島）。新島で唯一の磯遊びスポット！
- 雄大な石山の白い斜面が見える！
- 石・砂・ガラスが勢揃いした観光スポット(抗火石の彫刻、ガラス作品など)
- 3か所の温泉施設でゆっくり休める！

## コースの説明： 所要時間1.5時間～ 往復2km

- 温泉あり、ガラスアートあり、砂浜ありの景観に富んだスポットを訪ねます。
- 砂浜を歩くことが多いので、歩きやすい靴を履いていきましょう。
- 途中、裸足になって歩くこともオススメです。
- 湯の浜露天風呂では、足湯で足も洗えます。
- 鳥ん島は、潮の状態によって渡れなくなります。海や潮の状況を確認しながら渡りましょう。（足場が悪いので登る場合は要注意！）

## アクセス

- 駐車場が鳥ん島正面および湯の浜露天風呂にあります
- 村営のふれあいのバスが一日3回通ります。（最新情報をご確認ください）



SPOT 1 鳥ん島の謎

間々下浦の正面に見える離れ小島の鳥ん島。  
潮が引かないと渡れない島ですが、なぜか朽  
ちかけた建造物の跡が・・・  
これはなんでしょう？

マメ知識  
鳥ん島は、式根島と同じようにクロ  
マツが見事に茂っています。これは  
温泉成分が土壤に影響を与えたか  
らと考えられます！



答え：

鉄索(ロープウェイ)を用いて、石山からの切りだした抗火石を島外に出荷していました。当時は大型の船が使える港もなく、自動車も使えない時代であった、海にせり出した鳥ん島が、格好の船積み場だったようです。

- ロープウェイは、行きと帰りが一本のロープでつながっていて、スキー場のリフトのように、石の重さだけで動いていたようです。効率的な設備ですね！
- 当初は石山から鳥ん島まで直接結ぶ長いリフト1本でしたが、管理が大変だったようで、途中で石山から鳥ん島前で降ろしてから鳥ん島まで運ぶ短いロープウェイ2本を使っていました。、戦後まで、短いものは使われていたようです。

**SPOT 2 はだしで砂浜**

鳥ん島から間々下浦の奥までの中ほどに、羽伏浦に負けない白砂の砂浜が広がります。

**やってみよう！**

砂浜をはだしで歩いてみましょう。  
どのような違いを感じるでしょうか？



答え：

足が潜るようなふかふかの砂は、さながら新雪。波に打ち上げられたばかりの砂です。

足が潜らない固い砂は、さながらアイスバーン。度重なる水や波によって、占め固まってきたものです。



**裸足であるこう！**

- 渚の近くは粗めの砂が、断崖の方は、細かい砂や砂鉄が取れます。
- これは風などの作用によって自然に分かれていきます



**砂鉄発見！**

- 砂浜の表面に砂鉄の層が現れます
- 戦後まで、本土にも砂鉄を出荷していたそうです。
- 砂鉄は島の石が砕けて、わずかな量ですが発生するものです。
- 新島は島そのものが新しいため、石とその中の砂鉄も新しく、非常に良質だったようです



**白砂の下にも砂鉄が！**

- 白砂の下に、砂鉄が出てくることがあります。見つけてみましょう！

### SPOT 3 ミニチュア川

間々下浦の奥に、白っぽい崖が見えます。岩肌が雨水に削られたような跡があります。

#### やってみよう！

川の痕跡を探して観察してみましょう！  
崖の途中から水が湧いて、小さな川が流れだしていることもあります。

これは、火山灰が積もって固く締った層なのですが、水の流れによって削られていき、このような複雑な景観になりました。この危険な崖の上でも、鹿は飛び跳ねて移動している足跡が見られます。

#### マメ知識：雨の化石を見つけてみよう

噴煙の中にある水蒸気が水滴になるときに、火山灰が巻き込まれて丸い粒になりました。火山豆石と呼ばれます



#### マメ知識：新島の粘土

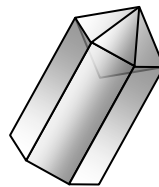
途中に赤やみどりっぽうところがありますが、軽石が温泉によって変質して、粘土になったものです。粘土は焼き物に使われますが、手でこねたりできる細かい土です。

### SPOT 4 白砂の正体をさぐろう

砂浜のきれいな白砂はどこからきているのでしょうか？ガラスアートセンターも崖の上に見えますが、ガラスの原料とどう違うのでしょうか？白い砂の正体は二つあります。火山ガラスと石英です。



**ガラス** : 高温で溶かした状態で、いろいろな形にできます。抗火石はガラスが多いので、もう一度溶かしやすく、ガラス作品が作られます。



**石英** : 塩の結晶のように、規則正しく尖って形になります。ガラスより固い状態です。

- 抗火石は火山ガラスが主成分ですが、中に石英の粒が含まれます。抗火石が雨や風で風化してぼろぼろになり、海に運ばれたの砂粒のうち、丈夫な石英の粒だけ、波で壊されずに砂浜に残ります。
- 噴火の火山灰に石英の粒が含まれることが多く、白ママにもたっぷり含まれているため、雨などで断崖が浸食されて、海に石英の粒が供給されることとなります。

～新島の白砂は、常に白ママと抗火石から生み出されているんですね！～